

## 令和2年度 中野市子ども読書活動推進連絡会議 実施事業

## 【1】 家庭読書週間

## 1 実施内容

家庭内での読書活動を習慣づけてもらえるよう、子どもと家族がともに読書活動に取り組み、子どもの読書活動に関心や理解を深めてもらう目的で、毎月23日を含む日曜日から土曜日までの1週間を「家庭読書週間」として実施した。

## 2 実施状況

## (1) 啓発チラシの作成・配布

- 令和2年4月から隔月で5回（4・6・8・10・12月）作成・配布した。  
（※令和3年2月に発行予定の2・3月号は現在作成中であり、後日配布する予定。）

## 【配布状況】

配布先		配布枚数		備考
名称	施設数	ポスター (A3 カラー)	チラシ (A4 白黒)	
子育て支援センター	3 箇所	3 枚	90 枚	
児童センター	2 箇所	2 枚	20 枚	
放課後児童クラブ	10 箇所	10 枚	100 枚	
幼稚園・認定こども園	2 箇所	2 枚	40 枚	
保育所（私立）	1 箇所	1 枚	20 枚	
保育所（公立）	11 箇所	11 枚	220 枚	
小学校	8 箇所	95 枚	2,212 枚	ポスターは学級数分を配布、 チラシは全児童・生徒に配布。
中学校	4 箇所	39 枚	1,127 枚	
市立図書館（本館）	1 箇所	2 枚	90 枚	
<b>総計</b>	<b>42 箇所</b>	<b>165 枚</b>	<b>3,919 枚</b>	

## (2) 音声告知放送・文字放送による啓発

- 令和2年4月から令和3年1月の実施期間中、音声告知放送・文字放送を活用して啓発を行った。  
（※令和3年2月及び3月の放送は、実施期間に合わせて行う予定。）

## 3 成果または課題

家庭読書週間に合わせて、子どもが自ら本を手にしてみたいと思うきっかけをつくるため、実際に読んで良いと思った本のコメントを子どもたちから募集する「読んでみて！わたしのだいすきな本」を実施した。

令和2年6月から令和3年1月までの応募件数は8件であった。応募があったコメントは、市公式ホームページで公開したり、市立図書館に掲示して読みたいと思った本に来館者がシールを貼れるようにしてコメントへの反響が見えるようにしたりした。

紹介した本の貸出回数は、昨年度と比較して伸びた本が何冊かあった。このことから、「読んでみて！わたしのだいすきな本」を実施したことで、子どもや保護者等へ本を手にしてもらうきっかけをつくれたものとみられる。

## 4 来年度の方針

家庭内での読書活動を習慣づけてもらえるよう、来年度も継続して実施する予定。

啓発チラシの内容について、「おすすめの本の紹介」以外にも、市立図書館でよく貸し出されている絵本や児童書などを紹介するコーナーを設けて、子どもや保護者等へより充実した情報提供を行う。

「読んでみて！わたしのだいすきな本」は、今年度よりも応募件数を増加させるため、子ども読書関係機関等にも周知を行う。

【参考】令和2年度の家庭読書週間の実施期間

	実施期間		実施期間
4月	4月19日(日)～4月25日(土)	10月	10月18日(日)～10月24日(土)
5月	5月17日(日)～5月23日(土)	11月	11月22日(日)～11月28日(土)
6月	6月21日(日)～6月27日(土)	12月	12月20日(日)～12月26日(土)
7月	7月19日(日)～7月25日(土)	1月	1月17日(日)～1月23日(土)
8月	8月23日(日)～8月29日(土)	2月	2月21日(日)～2月27日(土)
9月	9月20日(日)～9月26日(土)	3月	3月21日(日)～3月27日(土)

## 【2】おはなしマップ

### 1 実施内容

子どもと家族が読み聞かせに親しむ機会を充実させるため、市内の読み聞かせイベントや読み聞かせボランティアの情報を掲載した「おはなしマップ」を作成し、市内の子ども読書関係機関に配布した。

### 2 実施状況

- ・令和2年6月から四半期ごとに3回（6・9・12）作成・配布した。  
（※令和3年3月発行予定の『おはなしマップ春号（令和3年4月～6月号）』は、後日作成・配布する予定。）
- ・生涯学習課で年4回発行している『中野市生涯学習情報』に掲載した。

#### 【配布状況】

配布先		配布枚数（/一四半期）		備考
名称	施設数	A 3 白黒	A 4 白黒	
子育て支援センター	3 か所	3 枚	60 枚	
児童センター	2 か所	2 枚	30 枚	
放課後児童クラブ	10 か所	10 枚	150 枚	
幼稚園・認定こども園	2 か所	2 枚	40 枚	
保育所（私立）	1 か所	1 枚	20 枚	
保育所（公立）	11 か所	11 枚	220 枚	
小学校	8 か所	95 枚	160 枚	A 3 は掲示用で学級数分を配布
中学校	4 か所	39 枚	80 枚	
市立図書館（本館）	1 か所	5 枚	100 枚	
総計	42 か所	168 枚	860 枚	

### 3 成果または課題

おはなしマップで紹介した読み聞かせイベントへの参加を促すことで、読み聞かせの楽しさや大切さを知ってもらいきっかけをつくれた。

市内の読み聞かせイベントや読み聞かせボランティアの情報をより充実させるため、読み聞かせボランティアを育成する取り組みができないか検討する必要がある。

### 4 来年度の方針

子どもと家族が読み聞かせに親しむ機会を提供できるよう、来年度もおはなしマップの作成・配布を継続する予定。

おはなしマップに掲載している読み聞かせイベントや読み聞かせボランティアの情報が少ない状況が続いているため、おはなしマップや家庭読書週間の啓発チラシ等で情報提供を呼びかける。

### 【3】 第7回中野市子ども読書活動「ファミリー賞」

#### 1 実施内容

子どもや家族が子ども読書活動に関心と理解を深めてもらう目的で、家庭で行っている読書活動の様子をまとめた作品を募集し、優れた取り組みを紹介する家族に対しては表彰を行う。また、受賞作品は市立図書館等で掲示、市公式ホームページで公開することを予定している。

#### 2 実施状況

##### 【応募状況】

- ・ 募集締切：令和2年12月25日（金）
- ・ 応募総数：3家族

##### 【受賞者選考】

※令和3年2月18日（木）開催の中野市子ども読書活動推進連絡会議にて選考を行い、受賞者を決定する。

##### 【受賞作品の広報】

※受賞作品は、市立図書館等で掲示し、併せて市公式ホームページで公開する予定。

#### 3 成果または課題

ファミリー賞は、家庭内での読書活動が定着しているか知ることができるとともに、これから読書活動を習慣づけたいと考えている家庭へ情報提供をする役割を持っている。

応募件数が少ない状況が続いているのは、ファミリー賞に応募している家庭は特別な読書活動をしていると思われていることが主な要因と思われる。そのため、より家族で応募や参加をしやすい企画にするため、ファミリー賞を見直す必要がある。

#### 4 来年度の方針

来年度は子どもや家族が子ども読書活動に関心と理解を深めてもらえるよう、より家族で応募や参加しやすい企画にするため、ファミリー賞を見直すことを考えている

## 【4】ブックリストの改訂作業

### 1 実施内容

作成から10年以上が経過した「よんであげたい絵本」及び「おすすめの本」（以下「ブックリスト」という。）について、作成後も多くの本が出版され、紹介する本の中には、すでに販売していない本や市立図書館にない本がある。このことから、内容を見直し新たな本を追加したブックリストを作成した。

### 2 実施状況

#### 【改訂情報】

◎今年度は、以下の3つのブックリストの改訂作業を行った。

(1) 「えほんのせかいへようこそ」（0・1・2歳児向け）

※「よんであげたい絵本（0歳～2歳児向け）」（平成22年度）の改訂版

(2) 「おもしろいほんみつけた」（3・4歳児向け）

※「よんであげたい絵本（2歳～4歳児向け）」（平成23年度）の改訂版

(3) 「どのほんよもうかな」（5・6歳児向け）

※「よんであげたい絵本（4歳～低学年向け）」（平成21年度）の改訂版

#### 【利用方法】

◎今回改訂したブックリストは、令和3年3月末までに、紙面で子ども読書関係機関へ配布、データを市公式ホームページで公開することを予定している。また、ブックスタート事業（市立図書館で実施の事業）の際に保護者へ配布し、参考資料として活用してもらうことも予定している。

### 3 成果と課題

作成から10年以上が経過していたブックリストの改訂により、今の子どもたちに読んでもらいたい本を紹介することができる。また、読み聞かせでの選書に悩む保護者等に参考資料として活用してもらうことが期待できる。

### 4 来年度の方針

来年度もブックリストの改訂作業を行い、小学生向け（低学年及び高学年）と中学生向け（新規）を作成する予定である。

なお、来年度実施する小学生・中学生向けのブックリストの改訂作業を以って、一連の作業を終了とする。しかし、定期的に紹介する本の見直しや、市立図書館における蔵書の有無等の確認は行う。